



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 奥石 信
令和6年度 第5号
2024. 6. 21

無限の可能性を信じて

PTA会長 保坂 得孝

保護者の皆様おかれましては、日頃よりPTA活動に対するご理解並びにご協力をいただいております。誠に感謝しております。令和6年度PTA会長を務めます保坂得孝と申します。何かと至らぬ点もあるかと思いますが、精一杯務めていきますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、今年度も昨年度に引き続き、様々な学校行事等が予定されております。去る5月には、3年生の修学旅行、2年生の県内めぐり、1年生の校外学習と、校外での学習活動が行われました。今年の誠樹祭も現時点では観覧可能で行う予定となっています。また、PTA活動につきましても、親子ふれあい広場(10/16)、親子共同奉仕作業(9/7)などの活動が予定されています。各家庭、様々なご事情があるかと思いますが、可能な限り、学校行事やPTA活動にご参加いただき、子どもたちや先生方と触れ合い、中学校の様子を実感していただければ幸いです。

話は変わり、私自身、本校の卒業生の一人ですが、当時のまま残っている中学校内の設備を目にした時、会議室に飾られてある私が中学2年生・3年生時に全校生徒で制作した巨大壁画の写真や校長室に飾られてある当時の校長先生の写真を見たりするたびに、数十年前の双葉中学校での思い出が次々とよみがえってきます。

部活動や受験勉強など大変だったこともたくさんありましたが、学園祭や修学旅行、委員会活動、日常の出来事に至るまで、楽しかったことはそれ以上にありました。修学旅行と言えば、その後行われる県陸上大会への出場が決定している生徒は、旅行先でまさかの朝練！京都の町中を早朝からアップして数本のダッシュをした後、宿舎に戻り、他の生徒が既に食べ始めている朝食の場に合流しての食事だったことは今でも忘れられません。

願わくは、今の私がそうであるように、子どもたちにとって、この双葉中学校での3年間で一生忘れられないかけがえのない時間となるようにと思っています。そして、数年後に訪れる「社会人」に向けての基礎・基盤を、この中学生時代にしっかりと養い、身に付けていってもらいたいと願っています。

現代社会における日本は、人口減少・高齢化による労働力不足や社会保障問題、また環境や財政の問題など、様々な課題を抱えています。私が中学生だった当時、世界第2位の経済大国だった日本は、十数年前に中国に、今年はドイツに抜かれ、現在世界4位です。さらに来年にはインドにも抜かれ、世界5位へと順位を下げるであろうと予測されています。多様性が尊重され、様々な生き方や幸せの形が受け入れられる一方で、国民が同じ方向で向き合わなければ進展、解決が難しい非常に難易度の高い課題が子どもたちを待ち構えています。そう思うと、ついつい彼らの行く末を案じてしまうこともありますが、それでも、子どもたちに秘められている無限の可能性が輝かしい未来を創り出してくれることを信じ、一人の親として、またPTAの活動を通じて、子どもたちの成長の支えになっていきたいと思っています。

時代背景やニーズを受け、昭和世代の私が中学生だった頃と比べ、世の中は様々なことが変わってきています。スマホの普及によりコミュニケーションの取り方も変わりました。学校の指導のあり方や先輩後輩の関係もずいぶん変わったなあと感じています。高校受験の制度も変わりました。私の中の常識が今の常識では無くなっていると感じるものもたくさんあります。私自身も子育てにあたり考えを改めていかなければならないことや学んでいかなければならないことだらけです。

子育てや教育方針については、各ご家庭それぞれの考えがあるかと思いますが、PTA活動が少しでもその一翼を担うものになれるよう取り組んでいく所存でございます。1年間何卒よろしくお願いたします。



(校長室前の紫陽花。雨に濡れて美しいです)

☆ 今年度からPTA新聞の発行を年度末の1回にした関係で、昨年度までは1学期末のPTA新聞に寄稿していただいていたPTA会長のあいさつを学校だよりの紙面で紹介させていただくことにしました。

★ 6月下旬です。20日からテスト強化週間になりました。最近、校舎のあちこちで子どもたちの歌声が聞こえてきます。9月の誠樹祭に向け、学年・学級合唱の取組が始まっています。今からとても楽しみです。